平成29年夏　No.64

よしかわ里巳（さとみ） 市議会報告

市政に対するご意見は　Facebook『吉川里巳』まで!
[公式サイト] http://yoshikawasatomi.com　[メール] info@yoshikawasatomi.com　[ツイッター] @syoshivv

平成29年 6月議会 重点施策

●雇用の場として新たな工業団地造成へ
（予算額 5891万円　うち市費 2945万円）

新たな工業団地を佐賀県と共に整備し、企業の進出や地場企業の増設等を推進することで、更なる雇用機会の創出を図るため、東川登町袴野地区に有効面積約10haの工業団地が平成32年完成分譲に向けて整備がはじまります。

●認知症対策が充実強化されます
（予算額 500万円　全額市費）

高齢者が住み慣れた場所で自分らしくさいごまで暮らせるよう地域包括ケアシステムの構築が平成29年度本格的に動きだします。先行して2町で協議体とコーディネーターが設置されます。8年後には65歳以上の5人に1人が認知症になると言われるなか、認知症サポーター養成講座が全中学校で開催されます。また、取組の一環として認知症への理解をさらに深めるため、認知症と介護をテーマとした舞台公演「ペコロスの母に会いに行く」が11月頃開催予定です。

●病児・病後児保育施設が開設されます
（予算額 3299万円　うち市費 1099万円）

小松市長就任以来最大の公約の一つである、病児病後児保育施設が整備されることになりました。これまでは嬉野市の樋口医院と江北町の古賀小児科で受け入れをしていただいてましたが、認定こども園遊学舎（たけお保育園）敷地内に来年の春開設に向けて準備がはじまります。今回は設置する病児・病後児保育施設の新築に伴う建設経費について補助されます。病院から連絡票をもらって申請することになり、施設には看護師、保育士が常駐して定員6名の保育を行います。看病する方がいない働く親にとって心強い施設が平成30年4月開設されます。インフルエンザ等の疾患にも対応の予定です。

●新庁舎整備事業
（情報システム予算額 1億8000万円　うち市費 900万円、
庁用器具備品購入予算額 1億7000万円　全額市費）

新庁舎建設に伴い、事務の高度化・効率化のために情報システムの構築、庁舎器具等が購入されます。情報システムの構築については合併特例債を活用し、1基盤ネットワーク構築。2住民情報系ネットワーク構築。3内部業務系情報システムネットワーク構築。4情報共有系情報システム・公衆無線LAN構築。5既存システム機器移設が行われます。

●保育所等が整備されます
（予算額 2億2218万円　うち市費 4765万円）

老朽化した明信幼稚園・わかき保育園が統合、認定こども園に移行します。新しい園舎の建設に伴い経費について補助します。財源については、国の保育所等整備交付金（保育所部分　国2/3、市1/12）と県の認定こども園施設整備交付金（幼稚園部分　県1/2、市1/4）を活用します。新しい園舎のオープンは平成30年4月です。

●競輪場に公園が整備されます
（2億39万円）

バンク東側の隣接地に芝生広場を造り全長95m高低差60㎝の初心者向けペダルなし自転車BMXコースや大型遊具などが整備されます。このほか、トイレ、管理棟などが設置されます。お子様連れの親子などに利用していただける充実したレジャー施設として平成30年4月の記念競輪にあわせて開園されます。お楽しみに！

●発達障害児の支援が強化されます
（通級指導教室新設予算額 44万円　全額市費、
不登校対策における支援予算額 386万円　全額国費）

学習障害や注意欠陥多動性障害のある児童に対して、その児童に応じた個別指導を行うもので、タブレット端末を利用し、不登校児童生徒一人ひとりの状況・習熟度に応じた教育支援体制を強化するものです。現在、ことばの教室が武雄小学校で、まなびの教室が朝日小学校、御船が丘小学校、武雄中学校で実施されていますが、今回、新たに山内西小学校に開設されます。

●防災システムが強化されます
（予算額 2115万円　うち市費 285万円）

新庁舎建設に合わせて、ICTを活用した、双方向の情報をより早く、正確に集約・発信・共有し、行政と住民同士がより連携した災害対応を可能とする防災システムが構築されます。また、市内8カ所（全町）に防災カメラが設置されます。現在の河川ライブカメラは静止画ですが、今回導入されるカメラは動画仕様で録画機能があります。災害対策本部にいながら市内全域の冠水状況や降雨の状況をリアルの確認することができるようになり、情報の収集と発信の幅がさらに広がります。今回の設置予定個所は、鳴瀬分道付近、釈迦寺角薬局付近、JA橘支所付近、北方小学校付近、若木公民館付近、寺の下付近、永尾駅付近、矢筈コミュニティセンター付近となります。

●さがの米・麦・大豆競争力強化対策事業
（68万円　うち市費 15万円）

集落営農組織等の水田農業の担い手に対し、効率的な農業を行うために必要な機械・施設の導入に伴う費用の一部財源について、県の補助金（さがの米・麦・大豆競争力強化対策事業）（県 1/3、市 1/10、個人負担 17/30）を活用し補助します。

●タブレット端末の導入 （1億6146万円）

昨年、小学校5，6年生のタブレット端末が1,000台更新されました。今年度は、小学校4年生、中学校3学年の2,000台を更新することになりました。小学校4年生については現在の7インチから5.6年生が使用している同機種の10インチへと充実した仕様に見直されます。

よしかわ里巳（さとみ）の一般質問　武雄の未来。よしっ！

平成29年度6月議会

上下水道の検針徴収の隔月化でコスト削減を

吉　川　毎月検針と徴収にかかる経費が28年度実績で3,300万円かかっている。この検針を2か月に一度の隔月検針に業務改革すべきではないか？

今福上下水道部長　メリットとして検針手数料等や納付書発送等にかかる業務等も費用削減になってくると理解いたします。デメリットとして漏水発見が遅くなるといったこと等を含め調査研究したいと考えます。

吉　川　納付についても基本2か月に一回納めてもらい。どうしても毎月支払いたという利用者には分割納付をして頂くように選択制にする。今より納付期限が延びれば利用者にとってもメリットが大きい。検針員の賃金も例えば1世帯あたり70円と決して高くないわけで業務改革をすることで例えば90円に引き上げ労働条件を良くすることも出来る。とにかく年間1,500万円の効果があったら、10年で1億5千万円効果がある。今後の料金値上げの抑制にもつながる。是非、早急に取り組むべきではないか？

小松市長　市民サービス向上を追求することとあわせて業務改革をしっかりとバランスよくやっていくことが大事だ。システム改修とかの費用対効果の精査をして出来るということであれば議会に改めて相談したい。

吉　川　現在、上水道と下水道の納付書が別々になっているが、一元化をどのようにするのか？

今福上下水道部長　なるべく早い段階で一元化の対応を行いたい。

クレジットカード収納の導入を

吉　川　成人1人あたり2.5枚の保有とクレジットカードの利用が普及しているなかで、市税や使用料等の公共料金の支払いをクレジットカードにすることにより、利用者は口座にお金がなくてもボーナス払いで決済ができ、しかもポイントが獲得できるメリットがある。役所としても現金や納付書の扱いが減り収納率が向上し督促業務が減ることが見込まれる。制度の導入をすべきではないか？

水町総務部長　導入にあたっては、費用対効果とサービス向上の課題をもう少し見極めたい。

吉　川　初期投資が160万円で出来る。武雄市に関係のある皆さんに選択肢を増やしていただきたい？

小松市長　現段階で即導入というのは考えておりませんけども、今後時代も変わってきますので、早目に情報をつかんで導入も視野に入れて考えていきたい。

住宅購入から入居までの時間短縮を

吉　川　浄化槽未設置のため住宅購入契約はしたけれども2か月以上入居できないという状況が生じている。入居や移住して頂くみなさんや工事事業者の手戻りのことを考えれば、このタイムラグは絶対なくすべきである。制度の運用のあり方を見直して頂きたい？

小松市長　確実に供用開始がされるという条件をつけて見直しを図り、建築会社からの申請を受け付けるようにしたい。

商工労働行政に積極的支援を

吉　川　50万円以下の小規模工事の受注機会を増やすための、まちの職人さん登録制度が導入当初からして登録件数、発注件数共に6割近く減っている。本来の目的を再認識し魅力ある制度に見直すべきではないか？

牟田会計管理者　全庁的に各課において発注する工事はこの制度を活用するように周知したい。登録者には更新手続きの案内をしたところである。ホームページ以外に広報も活用し登録を促進していきたい。

小松市長　時代にあった制度とは何なのか。市内経済の活性化という観点からよく話をして見直しをしていきたい。

吉　川　武雄総合技能専門学院は昭和25年からの歴史があり、789名の修了生を輩出されている。在籍者は以前からすると減少して厳しい状況にある。今後も円滑な運営ができるように支援して頂きたい？

千賀営業部長　市としても雇用創出に取り組んでおり技術の継承は重要と位置づけている。行政としての支援を考えていきたい。

吉　川　住宅建設はプレカットが主流になっている。現地で職人さんが切り込みをする姿はなくなり、若手の職人さんはそういう経験がほとんど無い。伝統建築を守るためにも育成助成制度を考えるべきではないか？

千賀営業部長　関係市と連携して県への助成制度導入について働きかけをしたい。

武雄市議会議員　よしかわ里巳（さとみ）　武雄市朝日町甘久　電話 050-5317-9932